

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和6年1月29日

事業所名：あんずキッズ 逆瀬川

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースを確保し、利用用途によって部屋分けしています。	たくさん部屋があり、その時々で選べるのが助かります。【 はい:95% わからない:5% 】	お子様に使いやすい環境をスタッフ全員で考えていきます。
	2	職員の適切な配置	指定基準通りに配置。	【 はい:71% どちらともいえない:5% いいえ:0 わからない:24% 】	分からないという回答があるので、聞かれた時には分かりやすく回答したい。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	教室内は全面バリアフリーで、各部屋ごとに何をやる部屋からラベルで部屋名を表示。	【 はい:95% わからない:5% 】	部屋の用途を分かりやすく表示。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃・消毒で清潔さを確保し、子ども達が活動しやすい生活空間を心がけています。	庭があり、野菜を育てていてそれを使ったクッキングのレクがあるのも楽しい。【 はい:100% 】	この状態を継続していきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	施設内ミーティングで報告と改善点を報告し、毎日出勤時に申し送りノートで、前日の確認を行います。	/	継続していきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。	/	実施の有無を検討します。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内研修と外部研修への参加を勧めています。	/	外部研修参加を促していきたい。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年ごとにモニタリングを行い、個別支援計画書を作成しています。	【 はい:90% どちらともいえない:10% 】	継続していきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動を通して個々に合わせた支援と、要望書を基に計画を作成しています。		
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	アセスメントに基づき支援内容を決定し、個々のお子様合った支援内容を記載しています。	【 はい:90% どちらともいえない:5% いいえ:0 わからない:5% 】	継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画の内容に沿って支援を行っています。(スタッフ全員が、計画の内容を把握出来るようにしてあります。)	【 はい:85% どちらともいえない:5% いいえ:0 わからない:10% 】	分かりやすい計画を立てていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月間スケジュールを児童指導員のリーダーが中心となり、スタッフみんなで考えています。	・いつも楽しい企画などを考えて頂き、子供も楽しんで通所できてます。出来れば、コロナ以前の様に外出の行事も少しずつ増える事を期待しています。 ・工作やゲームなどバリエーション豊かな活動プログラムがあると思います。 ・持って帰って来る作品はいつも可愛いです。 【 はい:95% いいえ:5% 】	スタッフ全員でプログラムを考え、利用者様に喜んでもらえるように頑張っていきます。(ブログやインスタグラムの更新も出来るだけ多く投稿していきます。)
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日:月のスケジュールに沿った支援を行います。 休日・長期休暇:お迎え時間を出来る限り都合に合わせて、お子様の喜ぶイベントを多く取り入れるようにしています。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節や行事に合う工作を多く取り入れています。(保護者の方にも何をしたら分かるように、持ち帰れる工作を多くしています。)		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	利用予定のお子様とスケジュールの確認を行ってから、各部屋の見守り担当を決めています。		継続していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎の都合により、できる日とできない日があります。		スタッフ全員で、情報を共有化できるようにしていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	申し送りノート、個別記録表を記入。		前日の出来事やお子様の行動をスタッフ全員が共有できるようにしています。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年2回6ヶ月おきのモニタリング、個別支援計画の見直し作成をしています。		継続していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童指導員が相談支援事業所と連絡を取って、情報を共有し、参加依頼がある時は参加しています。	依頼があれば、会議に加われるよう調整し参加します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業所を通して、支援内容等の情報共有を行っています。	各関係機関とも情報を共有できるようにしていきたい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	問い合わせがあれば対応させていただきます。	必要であれば、対応させていただきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今後はコロナも5類に移行したこともあり、研修を勧めていきます。	研修に参加できる環境を作っていきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流はしていません。	【 はい:14% どちらともいえない:10% いいえ:24% わからない:48% 無回答:4% 】 今のところ交流予定はありません。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	行っていません。	—

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時に支援内容・利用方法・施設の説明をして、契約時に重要事項説明で利用者負担等の説明を実施しています。	【 はい:81% どちらともいえない:19% 】	分かりやすく、伝わるように説明します。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書類の確認をして頂き、サインをもらう形になっています。	計画を示しながらではありませんが、その都度説明はあります。【 はい:71% どちらともいえない:19% いいえ:10% 】	コロナウィルスの影響で面談は控えていましたが、今後 希望者から面談を行って行きたいです。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在は、行っていません。	—	—
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に様子を伝え、連絡帳にも様子や状況を記入しています。	送迎時に、その都度 話は出来ています。【 はい:86% どちらともいえない:4% いいえ:10% 】	余裕をもった送迎で、保護者さまにその日の内容を報告できるようにしていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった場合は、出来る限りの対応と助言は行っています。	出来たことや良い事は連絡帳で報告してもらえるので様子が分かります。課題などもう少し詳しく教えてほしい。【 はい:62% どちらともいえない:4% いいえ:20% わからない:10% 回答なし:4% 】	コロナウィルスの影響で気を遣っていましたが、今後は、こちらから積極的に声掛けをしていきたい。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していません。	—	—
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応は契約時に説明し、苦情があった際には迅速に対応できるようになっています。	苦情ではありませんが、対応してもらった事があります。【 はい:57% どちらともいえない:5% わからない:38% 】	あった場合は迅速に対応させていただきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者とは基本、連絡帳を利用して情報交換を行っています。	【 はい:80% どちらともいえない:20% 】	これからもスタッフ全員で、意思疎通が取れるよう心掛けていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事予定や活動報告は、ホームページにて提供しています。会報等の作成はしていません。	インスタグラムの発信を見えています。【 はい:71% どちらともいえない:10% いいえ:5% わからない:14% 】	HP上での月1回の行事予定更新、ブログ及びインスタグラムでの活動報告をしています。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は事務所にて保管し、スタッフ全員が秘密厳守を心掛けています。	【 はい:86% いいえ:5% わからない:9% 】	スタッフ全員が、十分注意して取り扱っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルはあるが、保護者にまで丁寧に周知できていません。	【 はい:48% どちらともいえない:14% いいえ:9% わからない:29% 】	—
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	災害に備えた定期的な訓練を実施しています。	子供が訓練に参加した報告を聞きました。【 はい:24% どちらともいえない:5% わからない:66% 回答なし:5% 】	定期的な訓練の必要性をスタッフ全員で理解し、訓練を続けていきたい。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	社内ミーティング内で、虐待防止の話は行っているが、研修を受けるまでには至っていない。(ミーティングでも冊子を使うなどして、詳しく話し合いをしていきたい。)		外部研修にも積極的に参加できるよう周知していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在対象になる児童はいませんが、クールダウン出来るオープンスペースを用意しているので、計画に内容を反映できるようにしていきたい。		—
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時のアセスメントシートで、アレルギーを把握し、スタッフ全員がその事を知っています。		継続していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	記録に残し、社内ミーティングで報告しスタッフ間で共有しています。		継続していきます。